

第 34 期
事業報告書

自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日

株式会社 秩父開発機構

第 3 4 期 事 業 報 告 書

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 3 1 日

当社は令和 3 年 3 月 3 1 日をもって第 3 4 期事業年度を終了いたしましたので、事業の概況並びに決算等につきまして、ご報告申し上げます。

1 事業の概況

(1) 事業の経過及び成果並びに対処すべき課題

当期は事業 3 4 年目を迎え株主の皆様をはじめ関係各位のご支援を賜る中、埼玉県からの「秩父ミュージックパーク」と「埼玉県長瀬射撃場」の指定管理業務を事業の柱に据え、秩父地域の振興に寄与するため各種事業展開を進めてまいりました。

秩父ミュージックパークでは、コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言を受ける形で年度当初から駐車場の閉鎖をはじめ、音楽堂・野外ステージの休館、軽食堂ピエリア及びテニスコートの営業自粛などの措置を講じ、利用再開にあたってはソーシャルディスタンスの確保や消毒液の設置、利用者への注意喚起などの対策を実施してまいりました。

このようなコロナ禍ではありますが、公園管理業務においては、来園者に快適に利用していただくため、園地及び施設の維持管理、園内全般の清掃、警備などを日常業務として行い、継続中のモミジによる新名所づくりに向けた整備事業では、せせらぎ広場周辺の環境整備のほか、埼玉県のサポートもあり音楽堂周辺に 9 本の成木を移植することができました。

利用者サービスとしては、ユニバーサルデザインの整備や路面の段差を取り除く修繕など、多様化する来園者に対応した取り組みや、地域に密着した公園づくりを目指すため、草花の植栽や環境保全事業など市民との協働活動も広く実施しました。

情報発信としては、ホームページと SNS の活用や地元 FM ラジオ局「ちちぶエフエム」での提供番組などを通じ、コロナ禍における公園の現況をお知らせしております。

自主事業では、多くの集客となる事業は自粛とし、「スタインウェイを弾いてみよう」などの少人数で密を回避できる事業のみ実施しております。また誘致イベントについては、恒例化している大規模イベント、コンサートなどが開催中止となりましたが、比較的感染率が低下していた 9 月下旬には、野外ステージにおいてコロナ対策を施し「私立恵比寿中学コンサート」が行われております。

このような状況下において音楽堂・野外ステージの利用者数は令和元年度に比べ約半数の 8,296 人となり、規制や遵守事項を強いることの多い 1 年となりましたが、利用者からの感染者も無く、利用者満足度においては 90.06% となり経営目標の 80% 以上を達成することができました。

長瀬射撃場においては、無事故運営を経営目標に掲げ、職員及び利用者など、射撃場に携わる人々の安全と危機管理意識の向上を図るため注意喚起の徹底を図るほか、安心して利用できる施設とするための場内整備と施設管理に努めました。また、当年度では、新型コロナウイルス感染症対策として、ガイドラインを作成・活用し、ソーシャルディスタンスの確保や、手指消毒液の設置、検温などの対応も併せて実施してまいりました。

利用状況としましては、年度当初と年度末の 2 度にわたり、緊急事態宣言下において、一定期間利用休止措置を行っております。また、各ライフル射撃協会、猟友会、大学、高校、銃砲火薬店などの大会・練習会は年度当初で約 140 予定されていましたが、約 40 大会が中止となり、実施された大会においても規模縮小や他の射撃場との分散開催となるほか、例年 10 校前後の利用がある夏休みの学生合宿も 2 校のみとなるなどの影

響が出ております。

自主事業においては、例年実施している猟友会を対象とした「安全狩猟射撃大会」、初心者を対象とした「ビームライフル初心者講習会」などの事業は中止とし、銃所持許可の取得及び更新に係る、教習射撃、技能講習については営業休止期間に関わらず実施しております。

このようなコロナ禍において利用者数は令和元年度に比べ、約半数の 6,761 人に留まっております。

観光振興事業におきましては、秩父観光協会をはじめとする関係協力団体が例年実施している観光キャンペーンやイベントなどのほとんどが、中止となってしまいました。

また、情報番組連絡協議会事務局として番組制作への協力などを行っている テレビ埼玉「マチコミ ちちぶだより」については、番組ロケの自粛や放送日程の延期などの影響はありましたが、各関係団体との調整を図り、予定回数を放送し秩父地域の魅力発信に努めました。

第 3 4 期の主な事業は次のとおりです。

1 秩父ミュージックパークの指定管理業務の受託

① 公園施設の維持管理業務

- ・ 除草、芝生、植栽、高木・低木、林地、花壇、菖蒲田等の園地管理
- ・ 音楽堂・野外ステージ等の施設維持管理業務
- ・ 音楽堂・野外ステージの舞台照明音響業務
- ・ 園内清掃、警備業務、除雪作業 など全 24 項目

② 新名所づくりに向けた整備事業

- ・ 音楽堂周辺、せせらぎ広場 古木の伐採等の環境整備
- ・ 音楽堂周辺、モミジ 9 本植栽
- ・ 有害鳥獣の駆除による景観維持

③ 利用者サービスの充実

- ・ 秩父ミュージックパーク便利帳の活用
- ・ ユニバーサルサービスとしての「コミュニケーションボード」の活用
- ・ ユニバーサルデザインの整備
- ・ 翻訳機能を搭載したタブレット型端末の活用
- ・ バリアフリー対応として、スカイロードのブロック破損修繕

④ 市民活動の機会充実

- ・ チューリップ 1 万本プロジェクト（地元幼稚園児による球根の植え付け）
- ・ 水生生物やホタルの生息域の環境保全活動（地元ネイチャークラブと協働）

⑤ 情報発信

- ・ オリジナルホームページと SNS の活用
- ・ パンフレット・ポスター・チラシ作成（園内マップ、紅葉、梅園など）
- ・ 教育機関等と連携した広報活動（インストラクター事業の案内など）
- ・ 秩父ミュージックパーク連絡協議会の運営による公園内関係団体との情報共有
- ・ メディアを通じた情報発信（ちちぶ FM、新聞、テレビなどへの情報提供）
- ・ テレビ番組・映画撮影等の行為許可

⑥ 自主事業

- ・ スタインウエイを弾いてみよう
- ・ インストラクター事業（子ども昆虫探検隊、秋の星座観察会など 8 事業）
- ・ 写真展（秩父と甲武信ユネスコエコパークの蝶 写真コンクール展）

⑦ 軽食堂ピエリアの営業

- ・ ラーメン、カレー、そば などの販売

- ⑧ 大規模イベント誘致
 - ・9/19-20 私立恵比寿中学コンサート（野外ステージ）4回公演 各2,000人
 - ・11/8 ハワイアンイベント（野外ステージ）600人 など

※ 新型コロナウイルス感染症対策

- ① 緊急事態宣言等による施設の利用自粛措置
 - ・ 駐車場閉鎖
令和2年4月25日（土）～令和2年5月31日（日）
 - ・ 音楽堂・野外ステージ 休館措置
令和2年3月2日（月）～令和2年6月21日（日）
令和2年12月24日（木）～令和3年3月21日（日）※予約済の利用者のみ
 - ・ ピエリア 営業自粛
令和2年4月8日（水）～令和2年7月22日（火）
 - ・ テニスコート 営業自粛
令和2年4月8日（水）～令和2年6月15日（月）
 - ・ 遊具 利用停止
令和2年4月25日（土）～6月18日（木）
- ② 感染症予防対策
 - ・ ガイドラインの作成・活用
 - ・ ソーシャルディスタンスの確保（ホール座席・ベンチなどの間隔確保表示など）
 - ・ 手指消毒液の設置、検温の実施、利用者への協力要請（マスク着用、密回避など）
 - ・ テレワーク、仕事場の分散、2チーム制導入 など

2 埼玉県長瀬射撃場の指定管理業務の受託

- ① 施設等の利用に関する業務
利用者の受付、予約、利用案内等
- ② 施設、設備、物品の維持管理に関する業務
電子標的の整備点検、設備維持管理、場内清掃、除草・植栽管理など21項目
- ③ 大会・合宿等の誘致
主な射撃大会
 - ・ 第1回全国ピストル射撃競技大会 7/25-26 61人
 - ・ 関東学生スポーツ射撃選手権秋季大会 10/8-11 318人
 - ・ 全国ライフル射撃選手権大会 10/24-25 181人
 - ・ 全日本学生スポーツライフル射撃選手権大会 11/11-15 393人
 - ・ 関東学生スポーツ射撃新人大会 3/5-7 118人 など
- ④ 主な自主事業
 - ・ 教習射撃及び技能講習の実施 教習射撃18人、技能講習114人
 - ・ 銃保管業の実施
 - ・ 装弾及び標的の販売
 - ・ Tシャツ・キーホルダーなどオリジナルグッズの販売 など

※ 新型コロナウイルス感染症対策

- ① 緊急事態宣言等による利用休止措置
 - ・ 休館措置
令和2年4月8日（水）～令和2年5月31日（日）
令和2年12月24日（木）～令和3年3月21日（日）※予約済の利用者のみ
- ② 感染症予防対策
 - ・ ガイドラインの作成・活用
 - ・ ソーシャルディスタンスの確保（射場内での間隔確保表示など）

- ・手指消毒液の設置、検温の実施、利用者への協力要請（マスク着用、密回避など）
- ・施設の消毒の実施 など

3 観光振興事業

- ① テレビ埼玉「マチコミ ちちぶだより」情報番組連絡協議会の事務局業務
 - ・秩父地域市町及びスポンサーとの連絡調整（年8回放映）
 - ・番組連絡協議会の開催 など

4 その他の事業

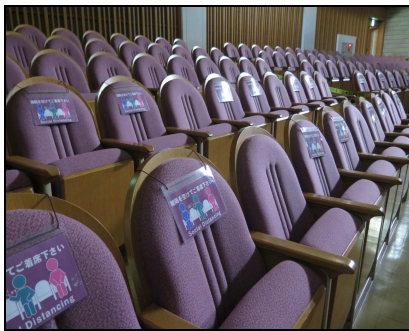
- ・秩父ミュージックパーク旧パー3ゴルフコース管理業務
- ・埼玉県長瀬射撃場環境保全業務 等

収入面では、両施設において埼玉県からの委託料増額がありました。利用者の減少などから事業収入も減少となり、売上高合計は前期比1千289万1千円減額の、1億9千131万8千円となりました。また、支出面においては予算配分の見直しや委託事業の内部消化を図るほか、利用休止期間の影響により、売上原価や人件費、光熱水費をはじめとする一般管理費などが減少しております。このような結果、当期純利益は341万8千円余の損失計上となり、利益剰余金は1千168万7千円となっております。

令和3年度においても、新型コロナウイルス感染症の収束は不透明であり、両施設の利用状況においても負の影響が懸念されますが、財務基盤維持のため単年度収支の損失回避に向け、効果的・効率的な運営を行ってまいります。

また、今後の課題としては、社会情勢を注視しつつ、進行中であるモミジによる観光スポット創出事業を計画的かつ着実に進め、将来的には集客策を図る中で、施設の利用率と収益の増加に繋げていくことが挙げられます。

◇ 秩父ミュージックパーク



間隔を考慮した音楽堂座席



音楽堂周辺へモミジ移植



スタインウェイを弾いてみよう

◇ 埼玉県長瀬射撃場



電子標的メンテナンス



射座間隔を空けての競技実施



分散開催による大会の実施

(2) 事業成績及び財産状況の推移

期別 区分	第31期	第32期	第33期	第34期
売上高(千円)	215,911	218,350	204,209	191,318
営業利益(千円)	4,454	5,834	579	849
経常利益(千円)	5,071	6,378	827	1,827
当期純利益(千円)	1,198	3,880	168	△3,418
1株当たり当期純利益(円)	124.89	404.18	17.54	△356.05
総資産(千円)	665,884	679,018	679,542	678,650
純資産(千円)	491,056	494,936	495,105	491,687
1株当たり純資産(円)	51,151.76	51,555.94	51,573.47	51,217.42

2 会社の概況

当期末(令和3年3月31日)の会社の概況は、次のとおりであります。

(1) 主な事業内容

- ア 秩父ミューズパークの指定管理業務の受託
(自主事業：軽食堂及び売店事業、各種イベントの実施他)
- イ 埼玉県長瀬射撃場指定管理業務の受託
(自主事業：標的・装弾販売、教習射撃及び技能講習の実施他)
- ウ ちちぶ観光情報番組の実施

(2) 株式の状況

当期末における株式の状況は次のとおりであります。

- ア 発行可能株式の総数 34,400株
- イ 発行済株式の総数 9,600株
- ウ 当期末株主総数 107名

(3) 主な大株主

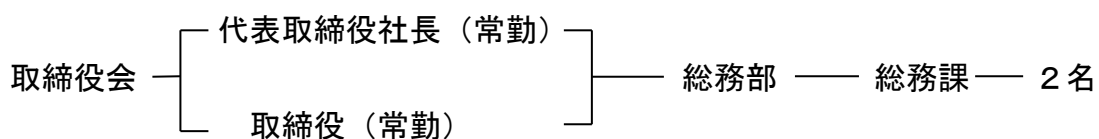
株主名	所有株式数	持株比率
埼玉県	2,460株	25.6%
西武鉄道(株)	960	10.0
秩父市	458	4.8
(株)埼玉りそな銀行	420	4.4
太平洋セメント(株)	400	4.2
西武建設(株)	300	3.1
(株)本郷会計	240	2.5
あいおいニッセイ同和損害保険(株)	220	2.3
秩父鉄道(株)	200	2.1
(株)武蔵野銀行	200	2.1
小鹿野町	170	1.8
損害保険ジャパン日本興亜(株)	160	1.7

他に、日本瓦斯(株)ほか94社が株主であります。

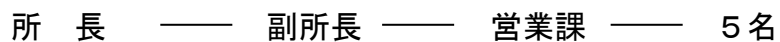
(4) 組織と従業員の状況

令和3年3月31日現在

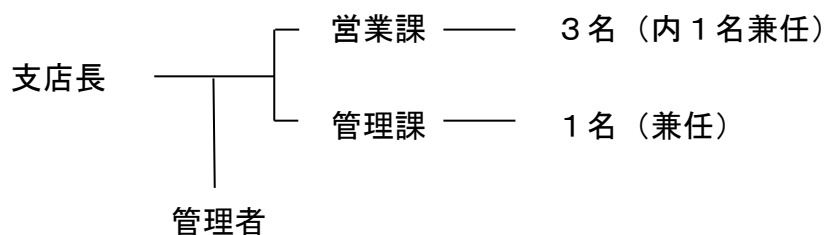
[本店]



[秩父ミュージックパーク管理事務所]



[長瀬射撃場支店]



従業員

区分	従業員数	前年比増減	平均年齢
男	6名	—	53.8
女	5名	—	44.4
計	11名	—	49.5

(5) 取締役及び監査役

令和3年3月31日現在

役職名	氏名	派遣団体等
代表取締役社長（常勤）	山口 民弥	元大滝村長・秩父市収入役
取締役（常勤）	田代 勝三	元秩父市副市長
取締役（非常勤）	久喜 邦康	秩父市長
取締役（非常勤）	大谷 隆男	秩父鉄道(株)代表取締役社長
取締役（非常勤）	西村 耕一	秩父商工会議所会頭
取締役（非常勤）	森 真太郎	小鹿野町長
取締役（非常勤）	藤井 拓巳	(株)西武ゆうえんち代表取締役社長
取締役（非常勤）	三島 吉晴	(株)埼玉りそな銀行秩父支店長
取締役（非常勤）	栗田 俊之	秩父太平洋セメント(株)代表取締役社長
取締役（非常勤）	井部 徹	埼玉県秩父地域振興センター所長
監査役（非常勤）	武島 健	(株)武蔵野銀行秩父支店長

下記の方から辞任する旨の届出があり、これに伴い登記を完了いたしました。

令和3年3月31日辞任届提出

取締役（非常勤） 石井 貴司 氏

監査役（非常勤） 板東 博之 氏

貸借対照表

令和3年3月31日現在

単位：千円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
[流動資産]		[流動負債]	
現金及び預金	523,752	買掛金	119,420
売掛金	130,198	未払費用	10,176
棚卸資産	3,671	預り金	238
前払費用	91	賞与引当金	3,092
仮払金	182	未払法人税等	788
未収入金	2,460	未払事業税等	1,441
未収法人税等	542	未払消費税	3,008
貸倒引当金	△21		
(流動資産合計)	(660,878)	(流動負債合計)	(138,166)
[有形固定資産]		[固定負債]	
建物付属設備	390	退職給付引当金	48,796
車両運搬具	73	(固定負債合計)	(48,796)
工具器具備品	581		
(有形固定資産合計)	(1,046)		
		負債の部合計	186,962
[無形固定資産]		純 資 産 の 部	
電話加入権	356	[株主資本]	
(無形固定資産合計)	(356)	資本金	480,000
		(資本金)	(480,000)
[投資その他の資産]			
預託金	32	利益剰余金	11,687
長期繰延税金資産	16,336	(繰越利益剰余金)	(11,687)
(投資その他の資産合計)	(16,369)		
(固定資産合計)	(17,772)	純資産の部合計	491,687
資産の部合計	678,650	負債及び純資産の部合計	678,650

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

損 益 計 算 書

自 令和 2 年 4 月 1 日
至 令和 3 年 3 月 3 1 日

単位：千円

科 目	金 額
売 上 高 売 上 原 価 (売 上 総 利 益) 販売費及び一般管理費 (営 業 利 益)	191,318 93,102 (98,215) 97,366 (849)
受 取 利 息 雑 収 入 貸 倒 引 当 金 戻 入 賞 与 引 当 金 戻 入 (営 業 外 収 益) 雑 損 失 (営 業 外 費 用)	115 372 11 510 (1,008) 30 (30)
経 常 利 益	1,827
税 引 前 当 期 利 益 法 人 税 等 法 人 税 等 調 整 額 当 期 損 益	1,827 1,667 3,578 3,418

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

株主資本等変動計算書

自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日

単位: 千円

	株主資本				純資産合計
	資本金	利益剰余金		株主資本 合計	
		その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計		
前期末残高	480,000	15,105	15,105	495,105	495,105
当期変動額					
当期純損益金		△3,418	△3,418	△3,418	△3,418
当期変動額合計		△3,418	△3,418	△3,418	△3,418
当期末残高	480,000	11,687	11,687	491,687	491,687

個別注記表

自 令和 2年4月 1日
至 令和 3年3月31日

I 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法

2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 法人税法の規定による定額法

3) 引当金の計上基準

ア 貸倒引当金 売上債権、貸付金の貸倒損失に備える為、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上する。

イ 賞与引当金 従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため支給見込額に基づき計上する。

ウ 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えて、簡便法により計算された当事業年度における退職給付債務額を計上する。

4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

II 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額 7, 378千円

III 株主資本等変動計算書に関する注記

当該事業年度の末日における発行済株式の数 9, 600株

IV 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生の主な原因別の内訳

(繰延税金資産)

貸倒引当金	6千円
未払賞与引当金	946千円
退職給付引当金	14,942千円
未払事業税等	442千円
繰延税金資産計	16,336千円

V 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額 51,217円42銭

1株当たり当期純利益 △356円05銭

監査報告書

株式会社 秩父開発機構

代表取締役 山口 民 弥 様

私は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの第34期事業年度に係る計算書類及びその附属明細書を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

なお、当会社の監査役は、定款第27条に定めるところにより、監査の範囲が会計に関するものに限定されているため、事業報告を監査する権限を有しておりません。

1. 監査の方法及びその内容

私は、取締役等から会計に関する職務の執行状況を聴取し、会計に関する重要な決裁書類等を閲覧いたしました。また、会計帳簿及びこれに関する資料を調査し、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和3年 5月 25日

株式会社 秩父開発機構

監査役

武島 健 